

鷺宮小学校・西中野小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画の策定について

- 1 鷺宮小学校・西中野小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画
別添のとおり
- 2 鷺宮小学校・西中野小学校統合新校校舎等整備基本構想・基本計画（案）に係る
意見交換会の実施結果

(1) 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
2月13日（木）18時30分～20時30分	鷺宮区民活動センター	7人
2月16日（土）14時～16時	鷺宮区民活動センター	12人

(2) 意見交換会で寄せられた主な質問・意見について

	主な質問・意見	区の考え方
①	1つの建物の中に小学校、地域開放型学校図書館、キッズ・プラザがあるなか、セキュリティは確保されているのか。	小学校、地域開放型学校図書館、キッズ・プラザについてはそれぞれの動線分離を徹底するほか、電子錠や防犯カメラにて安全対策を図っていく。
②	新校舎は、児童数増加にも対応できるのか。	児童数の増加も想定の上、普通教室の予備教室を各学年1教室ずつ整備している。
③	保健室から校庭までの距離があるが、校庭で児童が怪我をした場合は、どのように対応するのか。	南側校舎の1階にも、保健室機能を備えた部屋を整備していく。
④	新校舎は、車椅子利用者や足に障害がある児童でも支障なく利用できるのか。	エレベータを設置するなど車椅子利用者や足に障害がある児童でも不自由なく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを行っていく。
⑤	道路上空通路については、避難経路としての利用も想定の上、現在の第八中学校より広い幅員に設定してほしい。	道路上空通路については、学校生活において児童や教職員が安全に利用でき、また、災害時においても迅速かつ安全に避難できるよう配慮した幅員を確保していく。
⑥	プールは屋上ではなく、地上部に設置できないのか。	災害時の避難所としての生活用水の確保やプールへの視線対策の他、校庭を有効に活用していくうえで、プールは屋上に設置していく。

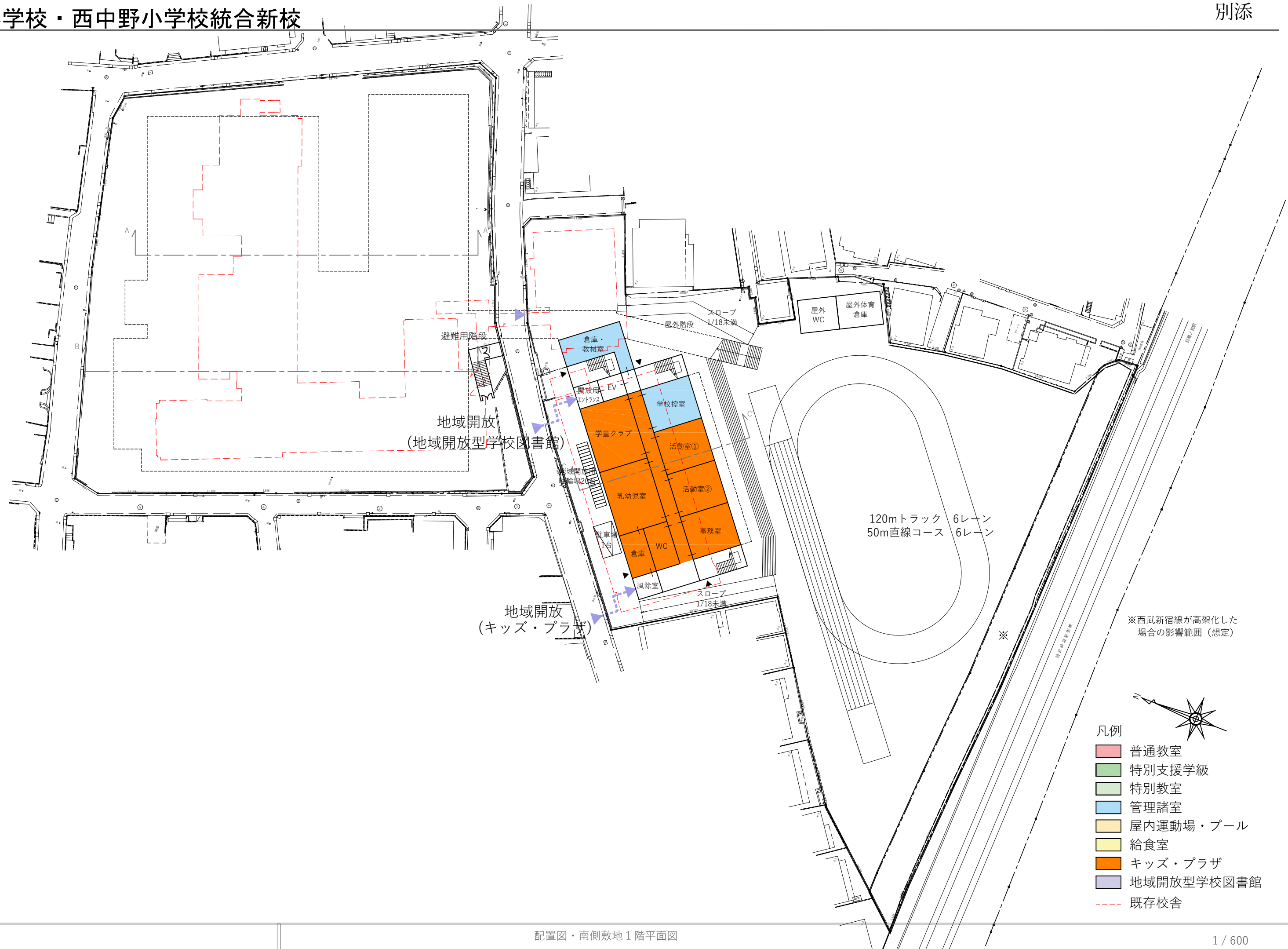
⑦	一足制の場合、雨天時における長靴や濡れた靴の対応はどのようにするのか。	靴の履き替えや、予備の靴の利用方法等、学校と運用についての検討を進めていく。
⑧	校庭の材質は何になるのか。	一足制による運用を踏まえ、校舎内に校庭の砂塵等を持ちこむことのない人工芝により、校庭を整備していく。
⑨	校庭は、水害への対策はするのか。	透水性のある人工芝の整備や、雨水を貯留できる設備を人工芝の下に整備するなどの対応策を計画している。
⑩	両敷地は高低差があり、移動が大変なため、高低差を解消することはできないか。	学校敷地の周辺の地盤の関係上、土地を削って高低差を解消することはできない。
⑪	北側敷地の擁壁は改修等行うのか。	新校舎の外構計画とあわせて擁壁の現状確認を進め、今後の対応について検討していく。
⑫	西中野小学校の児童が新校舎に通う場合、西武新宿線の踏切を越えなければならず、安全面で不安があるが何か対策は考えているのか。	児童が安心・安全に通学できるよう、跨線橋や地下通路の設置等、様々な対応策を検証していく。

3 基本構想・基本計画（案）からの主な変更点

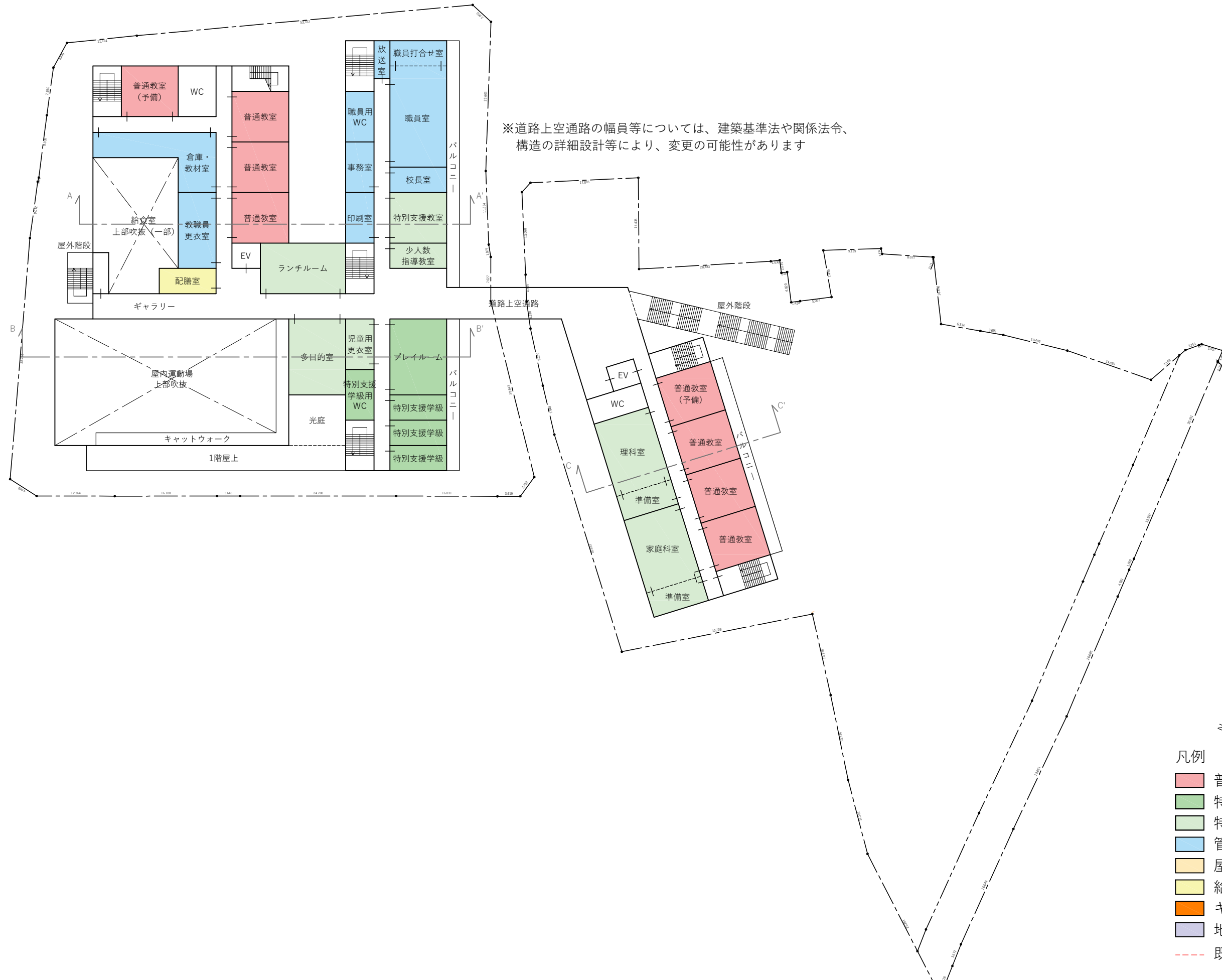
- 防災性の更なる向上のため、北側校舎に屋外階段を新たに設置
- 北側校舎西側の出入り口を広く整備
- 児童が寄りやすく、また教職員が校舎全体に目が行き届きやすくなるよう職員室・校長室を校舎の中央に配置
- 一度に多くの児童が安全に利用できるよう、道路上空通路の両端にスペースを確保
- 避難経路の更なる確保やエレベータの着床位置の見直しに伴い、プールの向きを変更

4 今後の予定

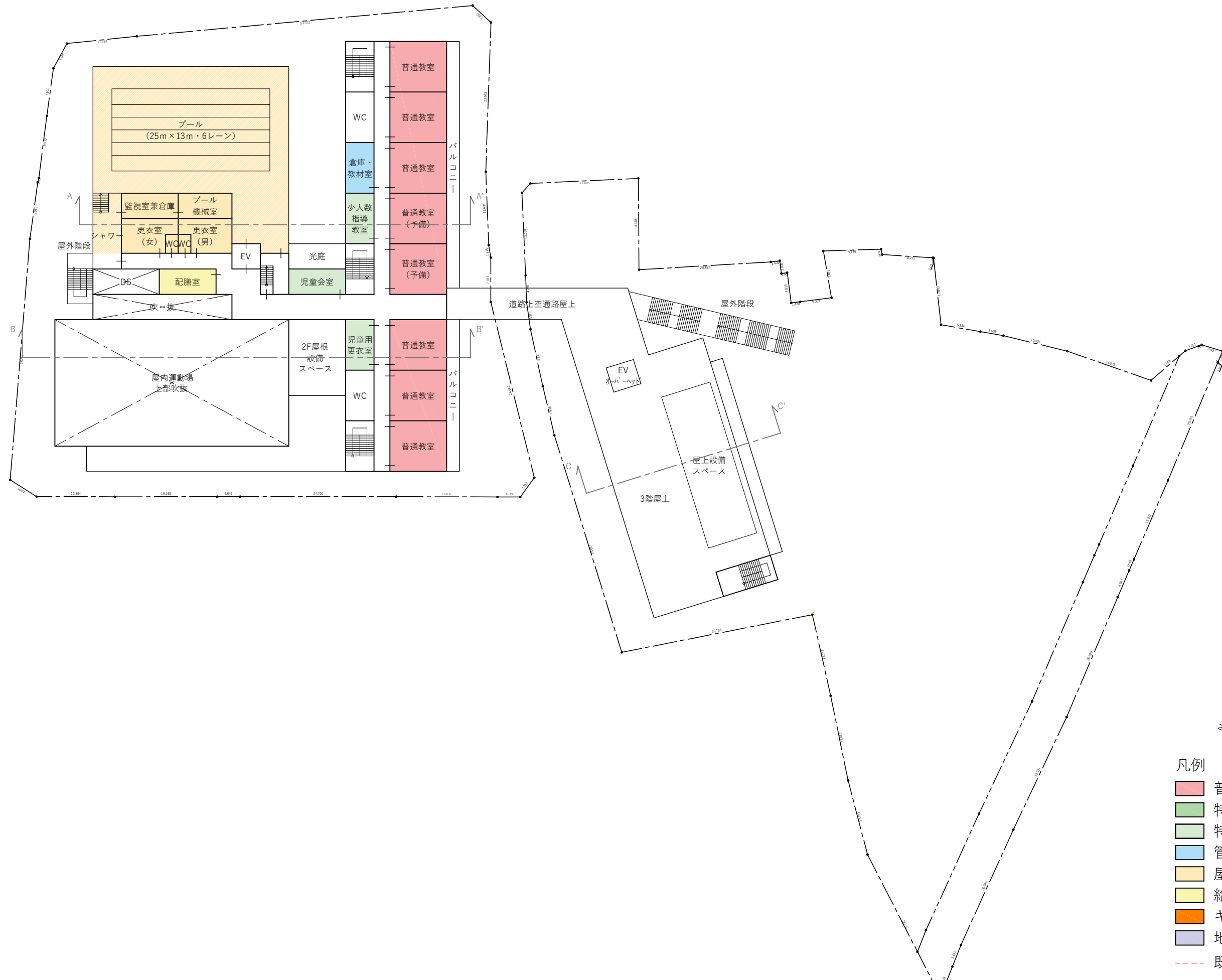
- 2019年7月～2020年12月 基本設計・実施設計
 2020年度末～2022年度 第八中学校校舎解体、新校舎等建設工事
 2023年度 新校舎供用開始

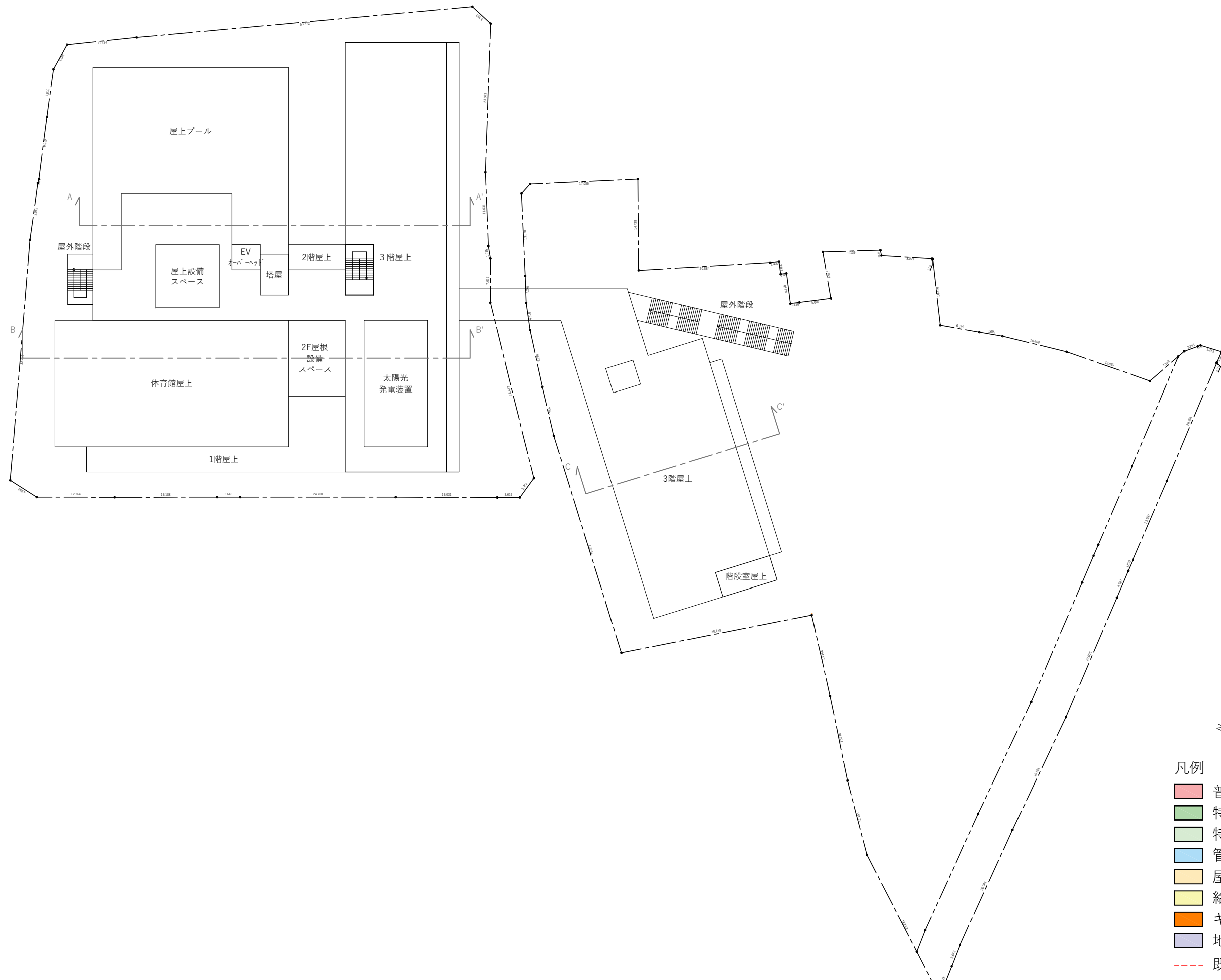


鷺宮小学校・西中野小学校統合新校



鷺宮小学校・西中野小学校統合新校





北側敷地屋根伏図